

「吉田町教育元気物語TCPトリビンスプラン（R6～）（案）」 に対するパブリックコメント手続の実施結果について

「吉田町教育元気物語TCPトリビンスプラン（R6～）（案）」に対して実施したパブリックコメントにつきましては、貴重な御意見等をお寄せいただき、誠にありがとうございました。

いただいた御意見等の概要とこれらに対する吉田町教育委員会の考え方を取りまとめましたので、公表いたします。

なお、御意見等の一部については、趣旨を損なわない範囲で集約させていただいておりますので御了承ください。

1 パブリックコメントの実施概要

(1) 案件名 「吉田町教育元気物語TCPトリビンスプラン（R6～）（案）」

(2) 実施期間 令和5年12月13日(水)～令和5年12月26日(火)

(3) 公表方法

ア 吉田町ホームページ

イ 吉田町役場庁舎5階学校教育課(閲覧及び配布)

ウ 吉田町役場庁舎1階「吉田町情報コーナー」及び町立図書館

(4) 募集結果

意見の提出方法	件数	人数
持 参	0件	0人
郵 送	0件	0人
ファクシミリ	0件	0人
電子メール	3件	1人
募集フォーム	0件	0人
合 計	3件	1人

2 意見等の概要と吉田町教育委員会の考え方

計画名	吉田町教育元気物語TCPトリビンスプラン（R6～）（案）	
番号	意見等の概要及び吉田町教育委員会の考え方	
1	ページ、項目等	<p>教職員が授業等に専念できる環境づくり</p> <p>ア 放課後の時間の生み出し(教育課程の工夫)</p>
	意見等の概要	<p>教職員が授業等に専念できる環境づくりのAについて、放課後の時間を生み出すことはよいことと思うが、それによって、授業の充実が図られているのかが疑問である。放課後の時間の有効活用に関する環境づくりはできないものか。</p>
	吉田町教育委員会の考え方	<p>各学校が教育課程を編成する上で、意図的な4時間日、5時間日を設定することで、放課後の時間が生み出され、教職員が教材研究を行う時間が確保されます。</p> <p>放課後の時間に教職員が教材研究に注力することで、授業の質の向上が図られ、ひいては授業の充実が図られると考えます。</p> <p>また、各学校では、生み出した時間を教師が教材研究のために有効活用できるよう、その時間に極力会議や行事を入れないよう意図的な教育計画の上で学校運営をしておりますので、御理解いただければと思います。</p>
2	ページ、項目等	<p>教職員が授業等に専念できる環境づくり</p> <p>指標1 仕事にやりがいを感じている教職員の割合：100%</p>
	意見等の概要	<p>教職員が授業等に専念できる環境づくりの指標1「仕事にやりがいを感じている教職員の割合：100%」を指標にすること自体問題と思うが、やりがいを持ってない教職員が、アからカの施策によって「やりがい」を持てるようになるのか。アからカの施策に対する指標としてはふさわしくないと考える。</p>

	<p style="text-align: center;">吉田町 教育委員会の 考え方</p>	<p>教職員は、誰しも教職の仕事に魅力を感じ、やりがいを持って仕事に就いていますが、実際は、保護者対応や事務仕事に時間をとられ、本来、充実させたい授業準備や教材研究、子供と向き合う時間が取れず、心身が疲弊してしまう状況が全国的に見られます。</p> <p>そこで、本町では、アからカの施策によって授業等に専念できる環境をつくることで、教職員が心身ともに充実し、やりがいを実感できる教育の充実が図られるものと考えておりますので、本指標について御理解いただければと思います。</p>
3	ページ、項目等	<p>子供の「確かな学力」を保障する環境づくり 指標 2 全国学力・学習状況調査の平均正答率：県平均以上</p>
	意見等の概要	<p>子供の「確かな学力」を保障する環境づくりの指標 2 「全国学力・学習状況調査の平均正答率：県平均以上」はTCPトリビンスプランの環境づくりだけで達成できるのか疑問である。環境づくりの指標としてはふさわしくないと考える。</p> <p>また、指標 2 を記載することで、「確かな学力」＝「テストの好成績」と受け取られないか。</p>
	<p style="text-align: center;">吉田町 教育委員会の 考え方</p>	<p>TCPトリビンスプランの『子供の「確かな学力」を保障する環境づくり』の施策として行うアからキによって、子供たちの「確かな学力」はどのような状況にあるのか、それを測る一つの物差しとして、全国学力・学習状況調査の結果を客観的指標として設定しております。</p> <p>全国学力・学習状況調査の結果には様々な要因があり、TCPトリビンスプランの施策だけがその結果に反映されてくるものではないことは承知しておりますので、あくまでも「確かな学力」を客観的に図る一つの指標として設定し</p>

		<p>ているものと御理解ください。</p> <p>また、「確かな学力」＝「テストの好成績」と受け取られないか、という御指摘に関しましては、まず「確かな学力」の定義は、学習指導要領に「基礎的・基本的な知識・技能の習得」、「これらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の三要素が示されており、これは、TCPトリビンスプランでいう「確かな学力」の定義と同様の捉えとなります。そうしたことも踏まえまして、指標1として「確かな学力」の三要素の一つである「主体的に学習に取り組む態度」の具体として、「課題解決に向けて自分から取り組んでいると感じている子供の割合：80%以上」を設定いたしました。</p>
--	--	--